

後方視的解析による子宮体部脱分化癌の頻度と予後に関する研究

1. 研究の対象

1990年1月から2013年12月までに当院で子宮体癌類内膜癌に対して初回手術を行った方

2. 研究目的・方法

2014年のWHO分類で新たに分類された、子宮体部の脱分化癌は、低分化類内膜癌より予後が悪く、また稀な疾患であり、臨床病理学的因子については不明な点が多いです。そのため、当院で経験した子宮体部類内膜癌に対して再評価して頻度や予後を検討します。研究期間は平成33年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録、カルテ番号 等

試料：病理検体、採血検体

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

防衛医科大学校 産科婦人科学講座

〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 2363）

FAX：04-2996-5213

研究責任者：防衛医科大学校 産婦人科学講座 講師 宮本守員